

## 学びの里づくりに向けた学校教育施設の建て替え計画の策定を求める決議

学校教育施設は、児童・生徒にとって学び育つ場であることはもちろんであるが、保護者や地域の人たちの交流の場として、さらには、災害時の避難所としての役割が求められる施設である。そして、教育委員会にとって、求められる学校の役割を果たすため、学校教育施設の整備を図ることは重要な責務である。

中津市には、小学校23校及び中学校10校、幼稚園11園の学校教育施設があるが、昭和29年に建築された豊田幼稚園をはじめ多くの施設で老朽化が進んでいる。

現在、教育委員会では耐震化の推進を加速する国の方針も踏まえて、平成27年度未完了に向けて耐震補強が必要な学校教育施設の改築、耐震補強工事を推進し、また耐震補強工事と併せて学校トイレ等の大規模改修にも力を注いでいる。

しかし、今回の耐震補強を含む大規模改修では、梁・柱等の構造躯体の延命化は困難であり、国の補助事業で建て替えが可能となる経過年数（築47年）を迎える学校教育施設は、年々増加の一途を辿ることとなり、計画的な建て替えをしなければ、後年度にばく大な費用の事業を積み残すこととなる。

そこで、現行の学校施設耐震化推進計画や学校トイレ環境整備計画の進捗状況を踏まえた上で、今後の児童・生徒の推移や市の財政計画などを含め、総合的な観点で十分検討し、学校教育施設の建て替え計画を策定するよう求める。

以上、決議する。

平成24年 3月23日

大分県中津市議会